



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月4日

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有坂 昌規

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 横井 宏紀

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 2022年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	27,639	22.0	845	105.0	1,433	105.0	1,025	111.7
2021年3月期第3四半期	22,656	△20.1	412	△77.4	699	△69.4	484	△71.0

(注)包括利益 2022年3月期第3四半期 2,450百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 30百万円 (△94.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	75.39	—
2021年3月期第3四半期	35.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	50,959	33,951	62.1	2,324.40
2021年3月期	48,369	32,170	62.3	2,217.95

(参考)自己資本 2022年3月期第3四半期 31,634百万円 2021年3月期 30,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	23.00	38.00
2022年3月期	—	20.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	28.00	48.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	13.7	700	△36.1	1,300	△14.3	700	△28.5	51.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	13,900,065 株	2021年3月期	13,900,065 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年3月期3Q	290,362 株	2021年3月期	314,118 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	13,597,820 株	2021年3月期3Q	13,581,597 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの新規感染者の増減に合わせて経済活動の制限と緩和が繰り返される中、緩やかではありますが持ち直しつつあります。また日本経済においても、昨年9月末の行動制限緩和後の個人消費は本格的な回復に向かっております。しかしながら日本でも今年に入りオミクロン株による感染が急激に広がっており、回復への道筋が不透明になっております。

このような環境下、主要顧客である自動車メーカーでの半導体不足の影響はありましたが、業績は順調に回復しております。しかし下期以降原材料価格が上昇しており、利益面では非常に厳しい状況下にあります。その結果、売上高は前年同期比22.0%増の27,639百万円となりました。営業利益は前年同期比105.0%増の845百万円、経常利益は前年同期比105.0%増の1,433百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比111.7%増の1,025百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①セグメント別売上高

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		10,453	46.1	12,048	43.6	1,594	15.3
海外	南北アメリカ	6,893	30.4	8,628	31.2	1,734	25.2
	中国	2,963	13.1	3,674	13.3	710	24.0
	東南アジア/インド	2,345	10.4	3,288	11.9	943	40.2
	海外合計	12,202	53.9	15,591	56.4	3,388	27.8
日本+海外合計		22,656	100.0	27,639	100.0	4,983	22.0

②セグメント別営業利益又は損失(△)

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		△99	—	△63	—	36	—
海外	南北アメリカ	368	—	486	—	117	31.9
	中国	203	—	337	—	134	65.9
	東南アジア/インド	216	—	374	—	158	73.3
	海外合計	788	—	1,198	—	409	52.0
日本+海外合計 (調整額除く)		688	—	1,135	—	446	64.8

③セグメント別概況

(日本)

自動車生産台数の回復により増収となりました。しかし営業利益は、前年同期比較では増加致しましたが原材料価格高騰の影響により営業損失となりました。

(南北アメリカ)

主要顧客の稼働率の回復により売上高は順調に回復致しました。営業利益も原材料価格高騰の影響はありましたが増収効果により増益となりました。

(中国)

自動車生産の順調な回復により、売上高・営業利益ともに2019年実績を上回るレベルまでに拡大致しました。

(東南アジア/インド)

各国の活動制限措置及び原材料価格上昇の影響はありましたが、自動車部品メーカーの回復で増収・増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、50,959百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,590百万円増加しました。主な要因は、「原材料及び貯蔵品」が1,171百万円、「受取手形及び売掛金」が771百万円、流動資産の「その他」が313百万円増加したことによります。

負債は、17,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ808百万円増加しました。主な要因は、「未払金」が391百万円、「短期借入金」が356百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が1,176百万円、流動負債の「その他」が662百万円増加したことによります。

純資産は、33,951百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,781百万円増加しました。主な要因は、「為替換算調整勘定」が1,052百万円、「利益剰余金」が440百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の見直しを行った結果、2021年5月13日付当社「決算短信」にて発表しました2022年3月期の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細は、本日(2022年2月4日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,077	7,822
受取手形及び売掛金	6,723	7,495
商品及び製品	1,650	2,061
原材料及び貯蔵品	2,421	3,593
その他	471	784
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	19,330	21,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,308	4,279
機械装置及び運搬具（純額）	1,391	1,378
工具、器具及び備品（純額）	378	385
土地	5,137	5,113
リース資産（純額）	87	89
建設仮勘定	22	17
有形固定資産合計	11,325	11,264
無形固定資産		
のれん	1,871	1,881
顧客関連資産	1,754	1,816
技術資産	567	577
商標権	497	506
その他	510	498
無形固定資産合計	5,201	5,279
投資その他の資産		
投資有価証券	10,784	11,092
保険積立金	644	672
長期預金	11	23
退職給付に係る資産	154	154
繰延税金資産	92	96
その他	839	644
貸倒引当金	△15	△12
投資その他の資産合計	12,511	12,671
固定資産合計	29,039	29,215
資産合計	48,369	50,959

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,554	4,731
短期借入金	3,411	3,055
リース債務	31	29
未払金	1,005	614
未払消費税等	105	6
未払法人税等	117	163
賞与引当金	396	266
役員賞与引当金	9	11
その他	1,126	1,789
流動負債合計	9,758	10,668
固定負債		
長期借入金	3,428	3,418
リース債務	63	67
繰延税金負債	1,316	1,329
役員退職慰労引当金	146	157
退職給付に係る負債	1,234	1,157
長期預り保証金	182	184
資産除去債務	20	20
その他	49	4
固定負債合計	6,441	6,340
負債合計	16,199	17,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,014	3,988
利益剰余金	24,835	25,276
自己株式	△415	△382
株主資本合計	32,684	33,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,649	1,640
為替換算調整勘定	△4,129	△3,076
退職給付に係る調整累計額	△70	△60
その他の包括利益累計額合計	△2,550	△1,496
非支配株主持分	2,037	2,316
純資産合計	32,170	33,951
負債純資産合計	48,369	50,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	22,656	27,639
売上原価	15,655	19,656
売上総利益	7,000	7,983
販売費及び一般管理費	6,588	7,138
営業利益	412	845
営業外収益		
受取利息	25	103
受取配当金	81	95
為替差益	—	16
助成金収入	32	98
持分法による投資利益	213	247
その他	58	103
営業外収益合計	412	664
営業外費用		
支払利息	35	38
保険解約損	22	21
為替差損	48	—
その他	19	17
営業外費用合計	126	76
経常利益	699	1,433
特別利益		
投資有価証券売却益	55	—
固定資産売却益	—	56
関係会社出資金清算益	—	22
特別利益合計	55	79
税金等調整前四半期純利益	754	1,512
法人税等	142	285
四半期純利益	611	1,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	127	201
親会社株主に帰属する四半期純利益	484	1,025

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純利益	611	1,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	683	△8
為替換算調整勘定	△1,041	1,138
退職給付に係る調整額	9	9
持分法適用会社に対する持分相当額	△231	83
その他の包括利益合計	△581	1,223
四半期包括利益	30	2,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52	2,079
非支配株主に係る四半期包括利益	82	371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症に対し、今後の広がり方や収束時期を予測することは困難であります。当社グループでは、外部の情報源に基づく情報等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響が2022年3月期の一定期間にわたり継続すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,453	6,893	2,963	2,345	22,656	—	22,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	480	3	—	55	539	△539	—
計	10,934	6,897	2,963	2,400	23,196	△539	22,656
セグメント利益又は 損失(△)	△99	368	203	216	688	△276	412

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△276百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が2百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△279百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	10,764	8,628	3,674	3,288	26,356	—	26,356
ビルメンテナンス 関連事業	1,283	—	—	—	1,283	—	1,283
顧客との契約から 生じる収益	12,048	8,628	3,674	3,288	27,639	—	27,639
外部顧客への売上高	12,048	8,628	3,674	3,288	27,639	—	27,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	636	14	—	45	696	△696	—
計	12,685	8,643	3,674	3,333	28,336	△696	27,639
セグメント利益又は 損失(△)	△63	486	337	374	1,135	△289	845

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△289百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△6百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△282百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。これによる影響額はありません。